

令和5年度 第1回四国中央市地域公共交通活性化協議会概要（議事録）

1	会議名	四国中央市地域公共交通活性化協議会
2	日時	令和5年4月26日（水曜日） 午後2時30分～午後3時16分
3	会場	四国中央市市民交流棟 2階会議室
4	出席者	委員14名 進藤文子委員、近藤智広委員、金崎佐和子委員、由藤美世子委員、眞鍋満春委員、出水武美委員、門田正孝委員（代理）、宇田直器委員、秋川剛委員、一色利彦委員、永木洋平委員、松浦和仁委員、松村拓朗委員（代理）、高橋誠委員 事務局 経済部長ほか3名
5	傍聴者	1名

協議事項等

1	会議次第	(1) 会長挨拶 (2) 委員自己紹介 (3) 協議事項 令和5年度事業計画案及び予算案の承認について (4) その他
2	会議概要	(1) 開会 開会に先立ち、事務局にて四国中央市地域公共交通活性化協議会の開会を宣言し、同協議会規約第8条第2項の規定により会議が成立している旨を報告。 (2) 協議事項 令和5年度事業計画案及び予算案の承認について 1 事務局より説明 2 質疑 (委員) 支出に関して、印刷製本費におけるチラシ印刷の内容について。 (事務局) 掲載内容の変更に伴う印刷に要した費用である。チラシは、市役所や公民館に設置している。 (委員) 収入に関して、デマンドタクシー利用料金、市負担金について変更はないか。 (事務局) デマンドタクシー利用料金、市負担金に変更はない。 (委員) 支出に関して、使用料及び賃借料におけるデマンドタクシーシステムについて。 (事務局) システムはNTTと利用契約を交わして使用している。今年度にはシステムの変更を予定している。 (委員) 新しいシステムの導入に際しては、委員の皆様と相談して選定できればよいと思う。他に質疑なく、令和5年度事業計画案及び予算案については、原案どおり承認された。 (3) その他

(委員) 運転免許返納や車を手放す高齢者が増えており、交通手段としてデマンドタクシーを利用したいが、エリアごとの運行や乗り継ぎが必要なこと、新宮地域は1日1往復しかないこと等の話を聞く。また、コミュニティバス運行の検討はあるのか。

(事務局) デマンドタクシーは1回1時間で運行できる範囲を設定しているため、エリアごとの運行となっている。タクシーや路線バスと組み合わせてご利用いただきたい。

また、交通結節点として待合場所を整備していく考えはあるが、コミュニティバスの検討については、当市を運行している路線バスと路線が重複するため、現状では検討していない。

(委員) デマンドタクシーで迎えに行った際、予約した方が不在であることがある。高齢で忘れることもあると思うが、実態を知ってほしい。数%の割合であるのではないか。

(事務局) 具体的な数は把握していない。多くはないがそのような事例はある。

(委員) 特に山間部の運行では走行時間を要し、このような事例があると利用に支障が生じる。

(会長) 山間部では一人暮らしの高齢者もいる。県内自治体での対策例を調査してはどうか。

(委員) コロナ禍におけるデマンドタクシー利用の動向はどのようであるか。

(事務局) コロナ禍での利用者数は、令和2年度16,070人、令和3年度16,578人、令和4年度16,397人であり、コロナ禍以前に比べ減少しているが、直近3年間では横這いである。

(委員) コロナ禍において公共交通の利用が減少する中、デマンドタクシーの利用は横這いであることから、生活路線として利用いただいていると考える。

国では、地方創生臨時交付金による自治体での支援策をお願いしているところである。重点的な支援として推奨する地域公共交通の支援メニューも活用いただきたい。

(委員) デマンドタクシーの手段は、AI化、DX、GX、自動運転、学習塾の送迎等、地域に応じて考えていくものであり、国としても支援やアドバイスができる。

(4) 閉会

事務局にて、四国中央市地域公共交通活性化協議会の閉会を宣言。